

独立行政法人国立高等専門学校機構教育教員研究集会研究論文募集要領

平成16年8月5日

独立行政法人国立高等専門学校機構理事長裁定

- 1 応募できる論文数は、各分野につき1人1論文までとする。論文は著者の原著で未投稿のものに限る。ただし、論文集「高専教育」へ投稿予定の論文の発表は認める。
- 2 論文発表申し込みは以下の手順による。
 - (1) 論文発表申し込み
所定の申込書に必要事項を記入のうえ、所定の宛先に期限内に提出する。
 - (2) 論文の提出
別紙、「論文執筆方法」に従って執筆のうえ、所定の宛先に期限内に提出する。
 - (3) 講演可否審査結果の通知
予め決められた期日までに論文発表の可否を発表申込者に通知する。なお、修正の後に発表可となった論文は、一旦著者に原稿を返却し、修正原稿を所定の宛先に期限内に再提出する。
- 3 論文は次の2段階で審査する。
 - (1) 別に定める審査要領に基づいて複数の査読審査委員が審査し、その審査結果に基づいて、講演発表の可否を決定する。
 - (2) 講演発表が可となった論文は、講演発表時に審査要領に基づいて複数の聴講審査委員が審査し、その審査結果及び(1)の審査結果を総合して、受賞候補者を選出する。
- 4 一般講演発表時間は、1テーマ20分(発表15分、質疑応答5分)とする。
- 5 最優秀論文には文部科学大臣賞を授与する。優秀論文には国立高等専門学校機構理事長賞を授与する。
- 6 論文は、研究集会時に配布する論文集「高専教育講演集」に掲載するとともに、インターネットWeb版で公開する。Web版の公開は担当校のURLサーバーにより行う。
- 7 論文集「高専教育講演集」に掲載された論文の著作権は著者に帰属し、国立高等専門学校機構が編集出版権を所有する。

附 則

(施行期日)

この要領は、平成16年4月1日から施行する。

独立行政法人国立高等専門学校機構教育教員研究集会研究論文執筆方法

1 原稿は和文及び英文横書きとし、次の要領により執筆したものとする。

(1) ページスタイル

本文の標準字体は、明朝体の 10.5 ポイントとする。また、1 ページの段組について、A4 判縦置きで、和文は 2 2 字×4 9 行×2 段 = 2 1 5 6 字とし、英文は 4 4 字×4 9 行×2 段 = 4 3 1 2 字とする。余白は上 2 5 mm、下 2 0 mm、左右 1 9 mm とする。ページ番号は、下辺中央下端より 1 5 mm 位置に 1 から順番につける。

(2) 原稿形態及び媒体、提出部数

原稿はワープロによる完成原稿(図表等がある場合はそれらを配置したもの)とし、原稿にはファイルを含む電子媒体(FD)を添付する。FD には著者名、使用したアプリケーションソフト名とバージョンを貼付し、印刷出力 1 部及び副本として白黒ハードコピー 6 部、計 7 部を添付し、所定の期日までに提出する。投稿ファイルに使用するアプリケーションソフトは、Adobe Acro-bat Ver4.0 以上とする。なお、下記のソフトでも提出可能とする。

- ・ Microsoft office Ver.97 以上
- ・ Justsystem 一太郎 Ver.8 以上

(3) 刊行版仕上がり形態

製版製本版：副本として提出されたものを、そのままオフセット印刷し、製本する。

Web 版 : (1)号に示す「ページスタイル」形態のPDFファイルとする。(PDFには Adobe Acrobat を使用する。)

(4) その他

著者は、FDの破損など、不慮の事態に備えて原本のファイルを必ず手元に保管する。

2 原稿は 2 又は 4 ページとする。

3 題目及び所属機関、著者名は次のとおり記載する。

(1) 題目

題目の活字は 1 4 ポイントのゴシック体、中央揃いとし、上下に 1 行を空ける。

(2) 所属機関・著者名

所属機関・著者名の活字は 1 2 ポイントとし、最初に () 書きで所属機関名を入れる。

また、登壇発表者の前に を付ける。

なお、所属機関・著者名が 1 行で入らない場合は多段書きにする。

- 4 章、節の見出しは次のとおりとする。
 - (1) 章の見出しは、12ポイントのゴシック体とし、上下1行空ける。初字は2字目とし、数字は算用数字とする。
 - (2) 節、項目その他の見出しは10.5ポイントのゴシック体とし、上1行空ける。初字は1字目とし、数字は算用数字とする。
- 5 図、表及び写真等のタイトルは10.5ポイントのゴシック体で「図1」、「表1」及び「写真1」等と表示する。説明文は10.5ポイントの明朝体とする。
- 6 脚注及び参考文献は、原則として原稿の最後にまとめて記載する。
- 7 執筆上、特に注意すべき内容は次のとおりとする。
 - (1) 本文は口語体とする
 - (2) 用語以外はできる限り「常用漢字」を用い、仮名は「現代仮名遣い」とする。
 - (3) 改行部の初字は2字目とする。
 - (4) 参考文献は原則として次の順で記載する。
 - ア 雑誌の場合は、番号[1)、2)、・・・]、著者名、題目、雑誌名、巻、号、ページ、発行年
 - イ 著書の場合は、番号[1)、2)、・・・]、著者名、著書名、ページ、発行所、発行年
 - (5) 文献引用に当たっては、本文中の該当箇所に肩付文字[1)、2)、・・・]を付ける。
 - (6) 注については、肩付文字[注1)、注2)、・・・]を付ける。
- 8 校正は特に行わない。
- 9 この執筆方法に定めるもののほか、必要な事項は担当校が決定する。